

Hatsuyuki ブロックアイススライサー

取扱説明書

ブロックアイススライサー

型式/HB310B



- ●このたびは、初雪ブロックアイススライサー をお買い求めいただきましてまことにありが とうございました。
- ●この製品を安全に正しく使用していただくた めに、お使いになる前にこの取扱説明書をよ くお読みになり十分に理解してください。な お、正しくご使用されなかった場合は、保証 対象外となります。
- ●お読みになったあとは必ずいつも手元におい てご使用ください。

も

■安全上のご注意]
■各部のなまえとその働き 4
●付属品・注意ラベルの貼付位置 5
■設置と運転前の確認6
■ご使用方法8
●運転の手順9
●氷削台上の氷の取り出し方法について … 11
●安全スイッチについて 11
●強弱調節ネジについで 12
●プロテクターについで 12
■刃物の交換のしかた 13
●刃物の取り外し・取り付け方 13
■お手入れ14
●毎日のお手入れ
●汚れが目立つときのお手入れ 15
●適時のお手入れ 15
■点検16
●1年に1~2回の点検 16
●保管方法16
■故障の見分け方と処置方法 … 17
■譲渡・廃棄18
■仕様18
保証書・アフターサービスについで・巻末

CHUBU 株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

- ●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- ●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、 想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

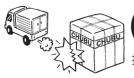
図記号の例

永 感電注意	△は、注意(危険、警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
分解禁止	◇は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、◇の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
B -Ç プラグを抜く	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

⚠ 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷が ないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社 へ損傷の状況を(梱包箱と共 に)連絡してください。損傷の まま使用しますと、感電、火 災、ケガの原因となります。





アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)





アース線を確実につなぐ

電源は専用コンセントを使用すること

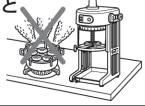
電源コードは途中で接続 したり、延長コードの使 用及びタコ足配線をした 場合には、感電や発熱、 火災の原因になります。





湿気の多い所や、水のかかり易い場所に 据え付けないこと

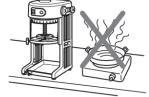
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。





熱器具 (ガスコンロ等) を周囲に置かない こと

熱でプラスチック が溶けたりして危 険です。





この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くとこ、

ろに設置しないこと

感電、ケガの原因 になります。



製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆 び、故障の原因にな ります。





漏電遮断器を使用している場合、OFF(切) に作動した時には、最寄りの販売会社へ

連絡すること

無理にON(入) にす ると、感電や火災の 原因になります。





電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、た ばねたり、重いものを載せ たり、はさみ込んだり、また 汚したりすると、電源コード が破損し、感電、火災の原因 になります。





電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着 していないか定期的に確認し、ガタツキのない ように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が 不完全な場合は、感電、火 災の原因になります。



点検掃除

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触 れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になりま す。





運転中にスライドカバーを開けたり、切削 室の中に手を入れないこと

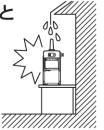
ケガの原因になりま す。





屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で 使用されますと、漏 電・感電の原因にな ります。





氷を出し入れするときは、刃先に直接手を 触れないこと

ケガの原因になりま す。



異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして 電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐ に最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を 続けると感電、火災 の原因になります。





切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず 電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜

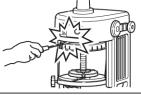
き、手袋をはめておこない、刃先に直接 手を触れないこと

ケガの原因になりま 💪



修理技術者以外の人は絶対に分解したり、 修理しないこと(刃物交換・お手入れ作業は除く)

異常作動してケガを したり、修理に不備 があると感電、火災 などの原因になりま す。





改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因に なります。





切削室内を掃除する時は、必ず刃物を切 削台上面より下げ、拭く方向は必ず反時

計方向に拭くこと ケガの原因になりま

す。



企注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること へん

据え付けに不備がある。 と転倒、落下によるケ ガなどの原因になるこ とがあります。



水滴が落ちてもよいところに据え付ける こと

結露のしずく、氷が溶けた水などで周囲の機器を濡らすことがあります。





直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。





掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチを OFF (切) にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。





切削室は使用前に必ず掃除をすること

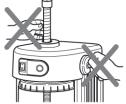
掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。





運転中は、回転部 (主軸・上下ハンドル) に手を触れないこと 。 『『

ケガの原因になりま す。





氷のセットは確実にすること

不十分なときは、氷が 飛び出す恐れがあり危 険です。



可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと スイッチの火花など

スイッチの火花など で引火し、発火の原 因になることがあり ます。





電源プラグを抜くときは、電源コードを 持って抜かないこと ____

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。





氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になりま す。





強弱調節ネジの調節は、上下ハンドルから手を放しても氷押えが下がらないよう調節すること

ケガの原因になりま す。



廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に 依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。





このお使いになっている製品を他に売ったり、 譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安

全な正しい使い方を知る ために、この取扱説明書 を製品本体の目立つ所に テープ止めすること





認

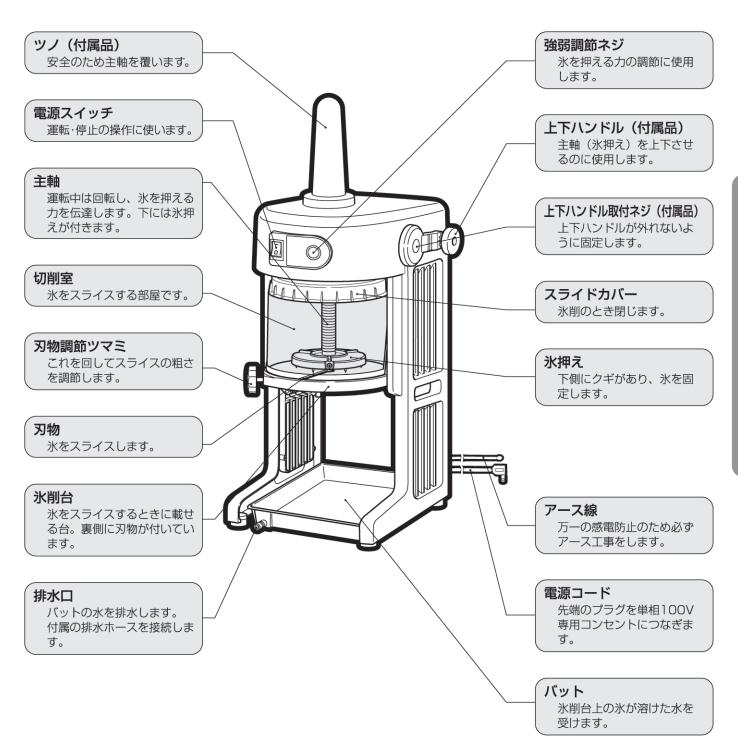
各部のなまえとその働き

●本製品はブロックアイスからスライス氷(かき氷)を作るための製品です。

ブロックアイス以外のものには使用しないでください。

※ブロックアイスとは…氷販売店などで扱っている1貫目の氷の半分(半貫目)約13cm角の氷塊です。

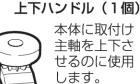
■本体



■付属品

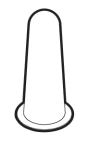


予備刃物(1個)





氷旗(1個)

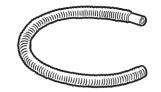


ツノ(1個)



上下ハンドル取付ネジ(1個)

上下ハンドルを本体に取付ける ために使用します。



排水ホース(1個)

バットの排水口に 接続します。

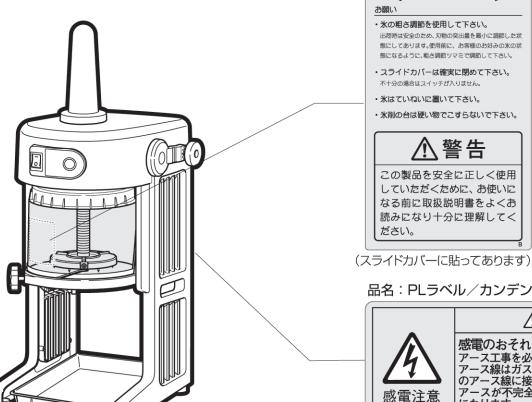


取扱説明書(本書)

l注意ラベルの貼付位置

お願い

- ●ラベルを剥がさないでください。
- ●ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売 会社より購入し、貼り替えてください。 ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。



品名: 開閉シール B

開ける

- 出荷時は安全のため、刃物の突出量を最小に調節した状態にしてあります。使用前に、お客様のお好みの氷の状
- スライドカバーは確実に閉めて下さい。

していただくために、お使いに なる前に取扱説明書をよくお 読みになり十分に理解してく

品名: PLラベル/カンデン 702

感電のおそれあり

アース工事を必ず行うこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話 のアース線に接続しないこと アーストで完全な場合は、感電の原因

⚠ 警告

になります。

(本体背面に貼ってあります)

設置と運転前の確認

|設置

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のア 一ス線に接続しないでください。アースが不完 全な場合は、感電の原因になります。(電気工 事業者によるD種接地工事が必要です。)



湿気の多い所や、水のかかり易い場所に 据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になりま



湿気禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コー ドの使用及びタコ足配線をした場合には、 感電や発熱、火災の原因になります。



熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かな いこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険で す。



熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使 わせたり、幼児の手の届くところに 設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

⚠ 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え 付けること

据え付けに不備があると転倒、落下による ケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



水滴が落ちてもよいところに据え付ける こと

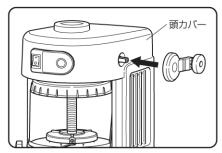
結露のしずく、氷が溶けた水などで周囲の 機器を濡らすことがあります。



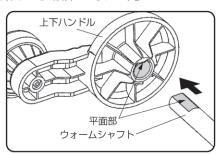
設置場所

■運転前の確認

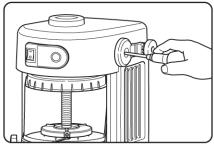
●付属の上下ハンドルを次の要領で製品に取り付けてください。



1 操作側から見て右側の頭力 バーに穴が開いています。 ウオームシャフトが出てい ますので、上下ハンドルを差 し込んでください。

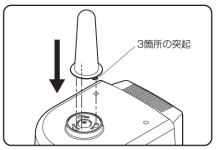


2 軸の平面部と上下ハンドルの平面部を合わせて挿入してください。

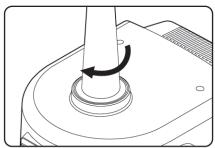


 付属の取り付けネジを上下 ハンドルに通して⊕ドライ バーで締付け、上下ハンドル を回して主軸が上下することを確認してください。

●付属のツノを製品に取り付けてください。



1 ツノの3箇所の突起を本体の穴にはめてください。



2 ツノを右に回し「カチッ」と音がして止まる位 置まで回してください。

- ●排水ホースを接続してください。
 - バットの排水口に付属の排水ホースをつないでください。その先に排水を受けるバケツ等の容器を置いてください。
- ●電源は、交流100Vに接続してください。 使用電圧は、90~110Vでお使いください。但し、発電機は使用しないでください。発電機による故障は保証いたしません。
- ●初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどが切削室に入っている恐れがありますので、切削室内の掃除をしてください。

■その他

●地域によっては、イベント等での氷削機の使用が許可されない場合がありますので、 当該機関(保健所等)までお問い合わせください。

で使用方法

運転中にスライドカバーを開けたり、切 削室の中に手を入れないこと

ケガの原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れた り、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電 源プラグを抜くか、元電源を切って、す ぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原 因になります。

プラグを抜く

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電 源スイッチをOFF(切)にして電源プラグ を抜き、手袋をはめておこない、刃先に 直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



⚠ 注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、 引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因 になることがあります。



ıŀ

氷のセットは確実にすること

不十分なときは、氷が飛び出す恐れがあり、 危険です。



電源プラグを抜くときは、電源コードを 持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源 コードを引張るとコードが傷つき、火災、 感電の原因になることがあります。



氷押えのクギに手を触れないこと

ケガの原因になります。



1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチ をOFF(切)にし、電源プラグをコンセント から抜くこと

電源プラグやコンセント部にホコリが溜まって 発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

運転中は、回転部(主軸・上下ハンドル)に 手を触れないこと

ケガの原因になります。

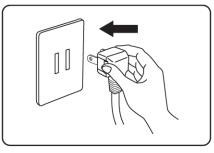
お願い

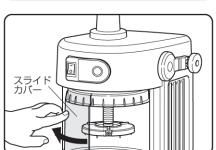
(1) 氷削機にご使用のブロック氷について

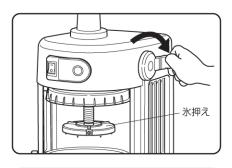
低温(-20℃以下)で保存した氷は、硬くなっています(白色の不透明)ので、そのままの状態でご使用に なりますと、粉のような「かき氷」になり、本来の綿のような「かき氷」になりません。

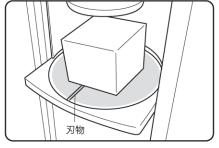
- また、刃物の刃先が損傷する恐れもありますので、必ず氷が透明の状態になるまで「ゆるめ」てからお使い ください。
- (2) 製品の上に物を載せないでください。

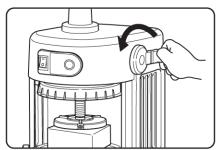
■運転の手順

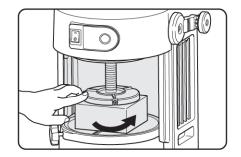












1

電源プラグを差し込む。

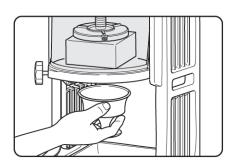
●電源スイッチがOFF(切)になっていることを確認し、電源 プラグをコンセントに差し込んでください。

2

氷をセットする。

●スライドカバーを左に回して開けます。

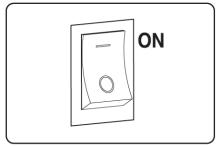
- ●上下ハンドルを時計方向に回して氷押えを上げます。
- ●上下ハンドルから手をはなし氷押えが落ちないことを確認します。
- ※落ちるとケガをすることがあります。
- ●氷削台の中心に氷をのせます。刃物よりはみでないようにしてください。(氷が削れなかったり、斜めに削れて氷が飛び出したりすることがあります。)
- ●氷から手をはなします。
- ●上下ハンドルを反時計方向にまわし、氷に氷押えのクギをく い込ませて確実に固定します。
- ※不十分なときは、氷が飛び出ることがあります。
- ●スライドカバーを右へ一杯にまわして閉じます。ストッパーに当るまで回してください。不十分なときは、電源スイッチをON(入)にしても安全スイッチが働き、製品が動きません。



3

容器を準備する。

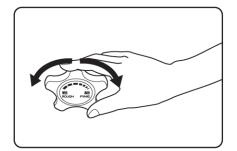
●氷削台の下にカップなどの容器を用意して、かき氷を受ける準備をしてください。



4

電源スイッチをON(入)にする。

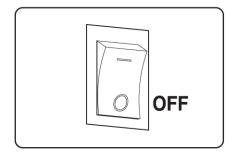
●運転を開始します。



5

氷削粗さの調節をする。

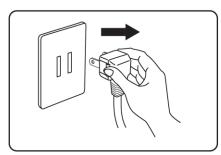
- ●刃物調節ツマミをまわして、お好みの粗さにします。
- ●右にまわすと細かくなり、左にまわすと粗くなります。



6

電源スイッチを切る。(運転停止)

●電源スイッチをOFF(切)にしてください。



7

使用後は電源プラグを抜く。

● 1 日の営業が終わったら電源プラグを抜いてください。

■氷削台上の氷の取り出し方法について

⚠ 警告

氷を出し入れするときは、刃先に 直接手を触れないこと

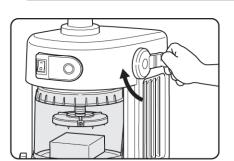
ケガの原因になります。



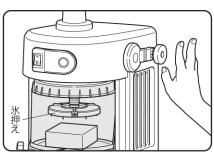
企 注意

氷押えのクギに手を触れないこと ケガの原因になります。

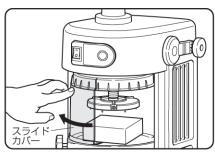




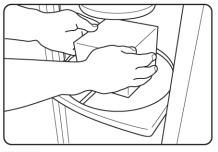
1 電源スイッチをOFF(切)にし、上下ハンドルを時計方向に回して氷押えを上げます。

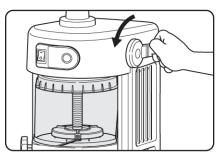


2 上下ハンドルから手を離し、氷押えが落ちないことを確認します。



3 スライドカバーを左に回して開けます。





5 氷押えは、上下ハンドルを 反時計方向に回して下げて おいてください。

■安全スイッチについて

- ●氷削運転中にスライドカバーを開けると、危険防止の為、安全スイッチが働き製品が停止します。
- ●安全スイッチを電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

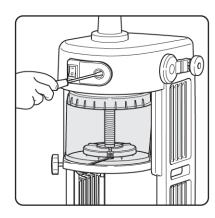
■強弱調節ネジについて

⚠ 注意

強弱調節ネジの調節は上下 ハンドルから手をはなして も氷押えが下がらないよう 調節すること

ケガの原因になります。





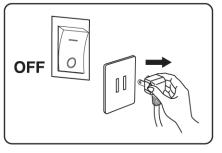
氷を押える力の調節に使います。

- ●調節には⊖ドライバーを使用します。
- ●右へまわすと強くなり、左へまわすと弱くなります。
- ●上下ハンドルをまわして力を確認 します。

上下ハンドルから手をはなしても 氷押えが落ちず、上げる時に重く ない程度が最適です。

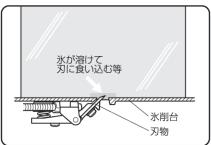
■プロテクターについて

- ●モーターに負荷がかかり過ぎると自動的に製品を止める装置です。
- ●一定時間以上連続使用するとモーターが過熱しプロテクターが作動して、製品が停止します。また、負荷がかかり過ぎた時にも同様に製品が停止します。
- ●プロテクターは、モーターに内蔵しております。
- ●作動したときは、次の処置をしてください。



1

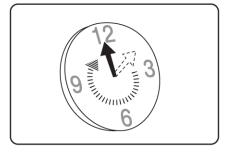
電源スイッチをOFF(切)にして、コンセントから電源プラグを抜く。



2

過負荷の原因を取り除く。

(例)刃物が氷に食い込んでいる。この場合は、氷のセットをもう一度やり直してください。



3

1時間放置してください。

●自動的に復帰いたします。

※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談 ください。

刃物の交換のしかた

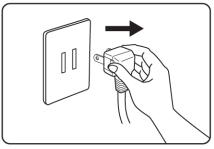
| 警告

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

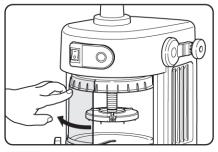


ケガの原因になります。

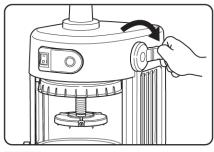
■刃物の取り外し・取り付け方



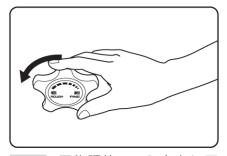
1 電源スイッチをOFF(切) にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



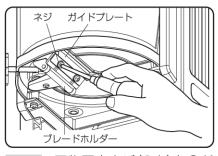
2 スライドカバーを左に回 して開けてください。

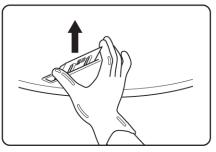


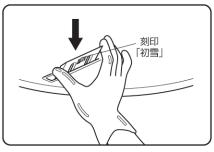
3 上下ハンドルを時計方向 に回して、氷押えを上げ てください。



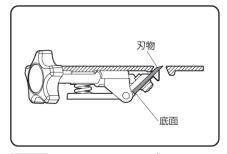
4 刃物調節ツマミを左に回して刃先が切削台の平らな面より出るようにしてください。



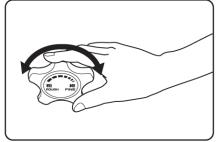




7 新しい刃物の刻印「初雪」が ガイドプレート側になるよう にして、氷削台の上からブレ ードホルダーとガイドプレー トの間に差込んでください。



8 刃物の底面をブレードホルダーに当て刃物固定ネジで固定します。



9 刃物調節ツマミを左右に回して、お好みの粗さに調節してください。

お手入れ

切削室内の掃除や点検・刃物交換のときは必ず

電源イッチをOFF(切)にして電源プラ グを抜き、手袋をはめておこない、刃先 に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。

ケガの原因になります。

プラグを抜く

切削室内を掃除するときは、必ず刃物を 氷削台面より下げ、拭く方向は必ず

反時計方向に拭くこと

掃除注意

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆、故障の原因になりま



濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れた り、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。

⚠ 注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、 引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因 になることがあります。



掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康障害

の原因になることがあります。

切削室は使用前に必ず掃除をすること



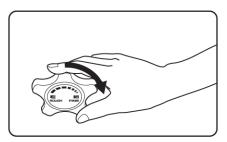
掃 除

お願い

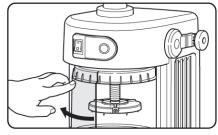
- ●40℃以上のお湯で洗ったり、食器洗浄機・乾燥機・消毒保管庫などを使用しないでください。プラスチック が変形することがあります。
- ●プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面をいためます。シンナー・ ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜塩素酸ソーダ・たわしな ど。なお、化学雑巾をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。
- ●氷削台にはさび止め処理を施しておりますので、硬いものでこすらないでください。

■毎日のお手入れ

●切削室内(氷削台・スライドカバー等)



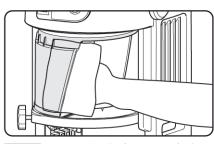
刃物調節ツマミを右に一杯 回して氷削台上面より刃物 を下げてください。下がっ ていないと、刃物でケガを することがあります。



スライドカバーを左に回し て開けてください。



ぬるま湯を含ませた布巾で 氷削台上を反時計方向に拭 いてください。時計方向に は絶対に拭かないでくださ い。刃物でケガをすること があります。



4

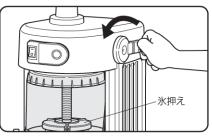
ぬるま湯を含ませた布巾で スライドカバー内面を拭い てください。

■汚れが目立つときのお手入れ(製品外面)

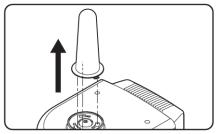
- ●乾いた軟らかい布で拭いてください。
- ●落ち難い汚れはぬるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。 その後、洗剤分が残らないように水ぶきしてください。

■適時のお手入れ

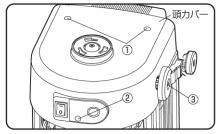
●給油 ●ギヤーオイル(住鉱潤滑剤製スミフードオイル相当品)をご使用ください。



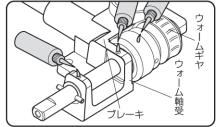
1 氷押えを一番下に下げてください。



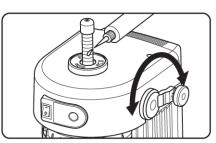
2 ツノを左に回します。止まる位置で上に持ち上げてツノを外します。



3 上カバーを取り付けている 小ネジ①②を⊕ドライバー で取り外してください。② は丸いラベルをはがしてネ ジを外します。上下ハンド ルを取り付けているネジ③ を⊕ドライバーで取り外し てください。



4 上下ハンドルをウォームシャフトに一時差し込み (P.7上下ハンドル取付参照)、上下ハンドルを回しながら、ウォーム軸受の上部小穴2ヶ所と、ブレーキとウォームギヤーの接触面に充分給油してください。



5 上カバーを取り付け、上下 ハンドル軸に上下ハンドル を取り付けます。主軸を 上下させながら主軸に給油 してください。給油後、ツ ノを取付けてください。 (P.7ツノ取付参照)

■1年に1~2回の点検

電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着して いないか定期的に確認し、ガタツキのない ように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合 は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重 いものを載せたり、はさみ込んだり、また 汚したりすると、電源コードが破損し、感 電、火災の原因になります。



アースの点検

●アース線は、切れたり接続部がゆるんでいませんか? 異常がある場合は、電気工事店に依頼してください。

電源プラグの点検

- ●専用コンセントを使用されていますか。 他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。
- ●電源プラグの刃の取付け面及びコンセントにホコリが溜まっていませんか。 ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。
- ●電源コードがキズ付いたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟みこんだり、汚れて いませんか。

異常がある場合は販売会社または電気店にご相談ください。

|保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

♠ 警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと (刃物交換・お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



お願い

●故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。

現 象	お調べいただきたいところ	処 置 方 法
製品が動かない	●電源プラグが抜け落ちていませんか?	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか?	●「プロテクターについて」の項参照。(P.12参照)
	●ベルトが切れていませんか?	●販売会社に連絡してください。
	●スライドカバーが開いていませんか?	●スライドカバーを確実に閉めてください。
	●モーターに異常な負荷がかかっていませんか?	●電源スイッチを「切」にし、氷等の負荷を 取り除き、しばらく放置してから再度起動 してください。
製品は動くが 氷が削れない	●刃物が切れなくなっていませんか?	●刃物を研ぐか交換してください。(P.13参照)
	●刃先が氷削台上面より出ていますか?	●刃物調節ツマミを左に回し刃物を出してく ださい。
	●強弱調節ネジがゆるくありませんか?	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。
切削中に氷押えから 氷がはずれる	●強弱調節ネジがゆるくありませんか?	●強弱調節ネジを右に回して強くしてください。
	●氷押えのクギが氷に食い込んでいますか?	●氷押えのクギを氷に確実に食い込ませてください。

譲渡・廃棄

■譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること



テープ止め

■廃棄

注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険なものとして処理してください。



仕樣

品	名	ブロックアイススライサー
型	式	HB310B
電	源	単相100V 50/60Hz
定格消費	費 電 力	200/185W
氷 削	能力	1.8/2.2kg/min
氷 削 有	効 径	200mm
外形寸法(幅×奥行×高さ)		347×396×780mm〈600mm(頭カバー上面)〉
質	量	17kg
付 属	品	●予備刃物… 1 ●上下ハンドル… 1 ●取付けネジ(M6×16ロック付) … 1 ●排水ホース… 1 ●氷旗… 1 ●取扱説明書… 1 ●シャフトカバー… 1

保証書

品 名	ブロックアイススライサー
型式	HB310B
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住 所	
お名前	
販売会社 住 所	

※必ず各欄をご記入ください。

- ●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。
 - 保証期間内は無料修理いたします。
 ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
 - ・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
 - ・落下・火災・地震など天災地変による故障。
 - ・消耗部品の交換。・保証書のないもの。
 - 2. 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
 - 3. 保証書は紛失されても再発行いたしません。
 - 4. 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。 (This warranty is valid only in japan.)
 - 5. 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務 上の保証(操業保証)はいたしません。

CHUBU 株式会社 中部コーポレーション

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1



アフターサービスについて

- ●保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- ●保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記 入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐ にお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- ●万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の 記載内容に準じて無料修理を致します。
- ●詳細は保証書をお読みください。
- ●保証期間内の修理などアフターサービスについてご 不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄り の当社営業所までご連絡ください。

CHUBU 株式会社 中部コーポレーション

フード機器事業部/三重県桑名市大字芳ケ崎字堂ケ峰1533の1 〒511-0944 東 京/TEL 03 (5833) 9968 大 阪/TEL 06 (6788) 2251 中 部/TEL 0594 (32) 1130 福 岡/TEL 092 (474) 1312